

第1回イノベータ講演会（1学年）

4月26日（金）に共愛学園前橋国際大学学長の大森昭生先生を講師に迎え、「答えがないから面白い～課題研究の意義と進め方～」と題して講演会を実施しました。1年生にとっては初めての挑戦となる課題研究について、その意義や研究の進め方などを具体的かつ丁寧に説明していただきました。

Society5.0に突入する予測困難な時代に活躍できる力を身につけるために、答えがない課題に主体的かつ協働的に取り組み、解決のための手段や方法を思考していくことの大切さが伝わりました。

講演後の質疑応答は大変活発に行われ、有意義なものとなりました。

探究基礎（1学年）

令和6年度より研究指定Ⅱ期が開始し、自然科学のみならず、人文科学・社会科学の領域や文理融合も念頭に置き、理系に進む生徒だけでなく全ての生徒にとって充実した教育内容となるよう、1学年は金曜6限に学校設定科目「探究基礎」（総合的な探究の時間の代替科目）を設定し、課題研究を行っています。

SDGs（持続可能な開発目標）に代表される社会課題を身近な事象に落とすほか、前高生が励む学習（進路）・部活動・学校行事等の質的向上を目指したテーマを設定し、課題設定・調査研究・整理分析・まとめ表現といった探究のサイクルを体験します。この探究基礎では、生徒は表にある10のゼミに分かれて

ゼミ	テーマ（例）
M1	貧困・飢餓・安全 自転車事故の現場検証 —前高の事例—
M2	衛生・健康・福祉 パフォーマンスの向上
M3	教育と文化 「バリアフリー旅in前橋」 ツアーコースの提案
M4	平等・平和 ジャンケンの分析
M5	エネルギー・環境 定期戦種目と物理
M6	真の経済成長と労働 「前高グルメマップ」の作成
M7	住環境や生活 部室環境を科学の視点で改善する
M8	産業と技術革新 コースを踏み外さない レゴプログラミング
M9	生態系と地球 偏西風波動を調べよう
M10	人間とは 錯視の有効利用

4、5人の班をつくり、前期・後期と半期ごとに、前期にプレ課題研究、後期にミニ課題研究に取り組みます。

前期のプレ課題研究を通じて研究活動の大まかな流れを把握して、後期のミニ課題研究では2年生の探究活動につながる基礎的な研究を行います。



写真： M8ゼミの様子

昨年度、開発した教材・評価法等を Web 掲載しました！

昨年度、本校のSSHで開発したクロスカリキュラムの授業実践の指導案や授業プリント、課題研究の評価ルーブリックや自己調整学習者のレジメなどを本校のホームページに掲載しました。中学・高校で活用ください。また、中学生、高校生のみなさんも是非取り組んでみてください。詳しくは、同じくホームページに掲載されている最新の報告書をご覧ください。 <https://maebashi-hs.gsn.ed.jp>

